

入居者様作品

※先月号の続きの短編小説です。前回は函館の旅館の女将が新しく登場していました。志乃は女将に好印象をもつたようですが…。さてはて今回はどのようなお話になるのでしょうか。

女将とすっかり親しくなった志乃は、なぜ叔父の正と今回旅行に行くことになったのかについて語った。

女将は嫌な顔一つせず聞いていた。志乃は、生まれてすぐに亡くなった父のこと、また父がいなことを寂しく感じていたが母を気遣ってそんな言葉を口にするのができなかつたことなど、他の人にはなかなか話せなかつたことも女将には話してしまふのだった。

すっかりお酒が回ってしまつた正はいびきをかいて眠っていたので、そんなことも余計に志乃を安心させたのだった。

「多分だけど、一正さんはそんな志乃ちゃんの気持ちを十分わかつていて、それで今回の旅行の話をしたんじゃないかしら。私もそんなにこの人のこと知っているわけではなけれど、とても思いやりがあるのに、不器用で、そんな人だもの。」

女将のその言葉を聞くと志乃も妙に納得してしまふようになるが、すぐに認められず、

「そうなんでしょうか。叔父とはいつても年もそうそう離れているわけでもなくて・・・自分にとっては子供のころからの遊び友達みたいなものなですよ。」と言葉に出してしまう。

「でもね。そうだとすると、わざわざ遠い石川県まで一緒に行こうなんてそう簡単に言えるものではないわ。そこは素直に認めてあげないとダメよ。」と女将が優しく言うと、素直に頷く志乃であった。

「こうやって若い人たちと話をするととても楽しくて、時間を忘れてしまふそう。」女将も嬉しそうに話す。

志乃はすっかりこの年の魅力的な女性が大好きになつてしまふ。

「あの、女将さん？」志乃が不意に呼びかける。「とても無理なお願ひだつてわかつています。でも無理と分かつていてお願ひします・・・。女将さんも一緒に行きませんか。」と志乃が言う。

女将はあまりに予想もしていない急な話だったので驚いたようであつたが、「うれしい。そんな大事な旅に誘つてもらへるなんて・・・。でもいいのかしら・・・。」と女将は迷いがあるようだったが、志乃の懇願に根負けしたようだった。

「さすがに明日すぐに店を閉めてとはならないけれど、明後日からなら準備すればなんとかなると思います。でも一正さんがびっくりするんじゃないかと女将が笑う。いびきをかいて寝ている一正をみて志乃も一緒に笑うのだった。【つづく】

食事介助用エプロンが新しくなりました

制服とともに、食事介助時用の職員用エプロンも今回新しくなりました。食事の際に、介助を受ける方にはやはり少なからず不安があると思ひます。安心して声掛けはも

ちろんですが、より清潔に、また統一されたエプロンを職員が使用することで、お食事の際に入居者様にさらに安心していただければと思ひます。



【上】ユニット加藤介護主任

超低床ベッドについて

先月の黎明にてお伝えしております、2月に導入された超低床ベッド6台の活用についてご報告致します。

介護主任が中心となり、どの入居者様に利用していただくのが有効に活用できるかを現場介護職員が精査しながら使用しています。

例えば夜間の転倒事故防止の為、離床センサーを使用していた方が超低床ベッドを使用することで離床センサーを使用する必要がなくなりました。また、長い習慣として、床で臥床してきた方が、この超低床ベッドを使用することで以前と変わらなく入眠できるとの喜びの声も聴かれています。

心と園では次年度にもベッドの入れ替えを6台予定しています。

編集後記

中国武漢より発生した新型コロナウイルスが世界に拡大し、関連ニュースが連日、新聞やテレビで報道されています。日本でも感染者が増加、特に北海道での感染報告が多く上がつています。

心と園ではこの新型コロナウイルスへの施設内予防対策を徹底するため、感染対策委員会を2月に計3回開催しています。

感染対策のため、施設内での面会についても現在全面禁止とさせていただきます。

この新型コロナウイルスは持病がある方や高齢者が特に重症化することが報告としてあがつていきます。感染予防のため、家族様にもご理解・ご協力を重ねてお願い致します。

今回の黎明でも行事の様子をお伝えしています。入居者の皆様のお元気な様子が少しでも家族様へ伝わればと思ひます。



厚岸町立特別養護老人ホーム
心と園
広報委員会発行

新型コロナウイルスについて

中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、2月に入ってから世界中に感染が広がっています。日本でも感染例が報告され、先月厚岸町からも感染の報告がありました。

まだ有効な治療法が確立していない未知のウイルスであるため、ご家族の皆様も不安に感じられているものと思ひます。

心と園では現在のところ、この新型コロナウイルスの感染者は発生していませんが、今後職員一同、入居者様の健康管理、自身の健康管理に注意を払い、予防に努めたいと思ひます。

心と園 施設長
永川 浩志

今号の黎明発送前にも各家族様へ書面にてご報告していますが、現在心と園では面会を原則禁止とさせていただきます。

施設内での面会が自由でないことは入居者

新型コロナウイルス 予防のために

- こまめな手洗い
- アルコール消毒の活用
- マスクの正しい着用と咳エチケット

制服が新しくなりました

心と園介護職員に令和2年3月より新しい制服が導入されました。各介護職員へ支給されています。

面会制限の解除後とはなりますが、心と園へご来園された際には是非ご意見をいただければと思ひます。



遠山介護員(右)と尾張介護員(左)

面会について

新型コロナウイルス対策として、心と園では施設内での面会を全面的に禁止とさせていただきます。また感染対策期間中の外出や外泊についても遠慮いただいています。

入居者様、家族様には大変ご不便をお掛け致しますが、重ねてご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

心と園では面会の他、外部の来客や関係業者の来園に関しても制限をしております。

またインフルエンザ予防とも共通しますが、各職員には出勤前の検温・発熱時の出勤停止、うがい手洗いの徹底などを義務付けています。

施設内での新型コロナウイルス発生が起らないよう、施設全体で予防に努めてまいります。





◆◆出前の日◆◆
2月にも出前の日が行われ、皆様お蕎麦やうどんを美味しく召上りました。皆様お蕎麦やがられていました。

心と園行事 スナック



◆◆誕生会スナック◆◆
家族様から色紙と衣類のプレゼントがあり、大変喜ばれていました。



お祝いにプリンをご用意しました。大変美味しく召し上がられていました。

鍋



◆◆鍋パーティーが行われました◆◆
2月26日にユニットにて鍋パーティーが開催されました。寒い時期はやっぱり鍋ですよ。今回の鍋は寄せ鍋でした。皆さん大変箸がすすんでいましたよ。
みなさんと一緒に食べるのも鍋の醍醐味ですよ。会話も弾み、楽しいお食事となりました。お鍋を食べられた後のおじやも大変美味しかったです。



◆◆桃の節句、雛人形の飾りつけをしました◆◆
3月3日はひなまつり。心と園でも2月に早めの雛人形の飾りつけが行われました。入居者の皆様が飾りつけをお手伝いしてくださいました。



雛人形と一緒に記念撮影です。